
ひと時の休息

ふるーつ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

ひと時の休息

【Zコード】

N9174C

【作者名】

ふるーつ

【あらすじ】

組織と本格対決中、休憩をとりに事務所に戻ったコナンの心情です。組織との対決から、やがて蘭への想いに移っていきます。

連日の徹夜で、さすがに疲れは最高潮だった。

F B I の指令本部に設置された装置で回線をジャックし、変声期を使って組織^{てき}を攪乱^{かくらん}すること幾夜。時折、入ってくる情報に応じて捜査官たち（特にジェイムズ、ジョディ）に助言をしつつの仕事だから、ほとんど気が抜けなかつた。

そして、今回の相手は組織の上層部。話しているのが本人ではないとわかれれば、いつもが会話を誘導されて情報を流すことになる。そればかりか、即座に逆探知されても突き止められる。

そんな危惧と隣り合わせの仕事。捜査官たちも疲労の色が見えていたが、コナンもそれに負けず劣らず疲れていた。

しかし実際、子供の身で体力もなく、下手をすれば簡単に捕まり、銃など撃とうものなら反動もすごい。歯がゆいながら最前線に出ることもできず、いつもして後方支援にまわるしかなかつた。

その上、「疲れてるでしょ？それに、あんまり家に帰らないとあの子が心配するわよ」と、嘘偽りのない気遣いをジョディにされでは、不本意ながらも一度事務所に帰るしかなかつた。もちろん、「一晩だけ」という条件つきで。プチ家出の理由は、『ゲームするのに、博士の家に泊まりこんだ』。

ただ、あんまり疲れを素直に出すと蘭が余計な勘ぐりをするので、早々に部屋に引っ込んで寝たほうがよさそうだと思つてはいた。

「コナン君、やっと帰ってきたーお帰り。『飯はもう食べたの？』

「……」

「コナン君？」

「あ、うん。『』めん、ちょっと疲れちやつたから、もつ寝るよ

何か引っかかったらしい蘭を、必殺（？）お子様笑顔で黙りせ、布団に入り込んだ。

体はやたら疲れているから、寝よといふと思えばすぐ寝りれる。

ただ、止まらない思考回路が、就寝を妨げていた。

このままいけば、あと数日で、大仕事はすべて終わる。

ICPO（インターポール）に協力を要請したらしいから、それに CIA の情報をプラスすれば、組織の全貌が相当見えてくるはずだ。

その時、ふとせつゝきの蘭の言葉が頭をよぎった。

『お帰り』

あの一言で、疲れが幾分か消えていくような気がした。

オレがちゃんと薬のデータを掴み、新一に戻つて会いにいつたら。あの同じ言葉を、ちゃんと言つてくれるだらうか。何ヶ月も何も言わず姿を消し、彼女を蚊帳の外にしていた、『幼馴染み』に。…言つてほしいから、じうして全力で前に進んでいるんだ。必ず、残りの役目を終わらせ、彼女の元に『新一』として帰る。愛しい、彼女の元へ。

「ナンは一つ笑みをこぼすと、田を閉じ、襲つてくる睡魔に身を任せた。

たつた数時間の、夢の世界へ。今ひと時の休息を。

（後書き）

私的「組織との対決の1場面」です。・・・いえ、実際こんなありかい、と思いつつ書いてしまいました（笑）

だって、組織を潰す前に薬のデータを取り戻すのってかなり無理っぽいし、だったらFBIの面々が子供のコナンを最前線に出すわけないし。

あ、銃を撃つたら反動がすごいだろ？と思つたのは「14番田の標的」のラストを思い出したからです。足元が崩れかけてたとはいえ、後ろにすっ転んでましたよね？あれじゃさすがに組織のメンバーとガチンコは辛かるつ・・・。

これ元々、組織と実際やりあつたらこんな感じかなー、と思いつつ書き始めて、気が付いたら後半思いつきり蘭中心でしたね。やっぱ、私蘭が好きなんかしら（笑）

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n9174c/>

ひと時の休息

2011年1月22日15時13分発行